

# 秩父宮賜杯 第 69 回西日本学生陸上競技対校選手権大会

[16690101]

## 要項

1. 主催 東海・関西・中国四国・九州学生陸上競技連盟
2. 共催 公益社団法人 日本学生陸上競技連合
3. 主管 関西学生陸上競技連盟
4. 運営協力 一般財団法人 京都陸上競技協会
5. 特別協賛 近畿日本ツーリスト株式会社
6. 協賛 ミズノ株式会社
7. 後援 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都新聞
8. 期日 平成28年7月1—3日（金—日）
9. 場所 京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場 [261010]
10. 競技種目  
【男子の部】（22種目）  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m  
110mH 400mH 3000mSC 4×100mR 4×400mR 10000mW  
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投  
十種競技  
【女子の部】（22種目）  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m  
100mH 400mH 3000mSC 4×100mR 4×400mR 10000mW  
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投  
七種競技  
※各種目エントリー時点において5大学かつ12名以上の参加がない種目についてはオープン種目として扱う。
11. 競技規則 2016年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合せ事項により実施する。
12. 出場資格 平成28年度日本学生陸上競技連合登録者で東海・関西・中国四国・九州学生陸上競技連盟所属の者に限る。
13. 出場制限 (1) 各大学、平成27年4月1日より各地区学連の申込期日までに別紙の参加標準記録に達した者は、下図の例に従い各種目1大学につき3名まで出場することができる。

参加人数	組み合わせ		
1名	B	A	
2名	B	A	A
3名	B	A	A

- (2) リレーについては1校1チームとし、1チーム6名まで連記できる。
- (3) 同一競技者の出場種目数の制限はない。

14. 申込料 1種目1名2, 200円 混成種目1名3, 000円 リレー1チーム3, 200円  
各地区学連が指定する方法で納入すること。領収書は各地区学連が発行する。
15. 提出物 (1) エントリーデータ。  
(2) エントリーデータ内の様式I~IVを印刷し必要箇所に押印した書類。  
(3) 記録審査書類。(形式は各地区学連のものに準ずる。)  
※申込書類受付後の選手の変更は受け付けない。
16. 記録審査 (1) 参加申込後、大会当日までに記録審査を行う。  
(2) 記録審査により申込の誤り、不正申込等を発見した場合、当該エントリー種目を出場停止とする。  
(3) 当該選手を別の選手と入れ替えることは認めない。
17. 表彰 (1) 男子総合優勝校には、秩父宮賜杯、優勝旗及び四地区学連会長杯、女子総合優勝校には四地区学連会長杯を授与する。総合2位校、3位校には盾を授与する。  
(2) 総合、トラック、フィールドの3位までの大学には賞状を授与する。  
(3) 各種目1位~3位の選手に賞状並びにメダル、4~8位の選手に賞状を授与する。  
(4) 男子及び女子の成績優秀者には最優秀選手賞として賞状及び盾を授与する。
18. 代表者会議 【期日】平成28年6月30日(木)19時開始  
【場所】京都市西京極総合運動公園陸上競技場内会議室
19. 開閉会式 いずれも京都市西京極総合運動公園陸上競技場にて行う。  
全選手メインスタンド前に部旗を先頭にして所定の位置に整列すること。  
【開会式】平成28年7月1日(金)9時00分  
【閉会式】平成28年7月3日(日)全競技終了後(準備でき次第行う。)
20. 得点方法 各種目とも1位-8点~8位-1点とする。
21. 順位判定 (1) 総合得点が同点の場合は、優勝種目数を比較して多い大学を上位とする。  
(2) 優勝種目数が同じ場合には2位種目、その後は3~6位種目数を各々比較して、より多い大学を上位とする。  
(3) 以上の点で同じ場合は同順位とする。
22. 宿泊 宿泊を希望する参加校には近畿日本ツーリストが斡旋を行うので、別紙要項により申し込むこと。
23. その他 (1) 本大会の各種目における優勝者は「天皇賜盃 第85回日本学生陸上競技対校選手権大会」のC標準突破者とみなす。  
(2) ナンバーカードは、配付された別ナンバーカードを使用すること。  
(3) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。但し、棒高跳用ポールは私物使用を認め、投擲物については、大会本部の検定を受けて合格したものに限り使用を認める。

(4) 棄権については、大会の権威と運営の円滑を期するため極力避けること。やむを得ず棄権する場合は、下記の要領で申し出ること。

①事前棄権

事前に棄権が判明している場合は関西学連のHPに掲載されている事前棄権届に必要な事項を記入の上、6月29日(水)18時までに関西学連事務所までFAXにて提出すること。提出後は必ず関西学連事務所まで電話確認(06-6442-8770)を行うこと。

②当日棄権

原則として認めない。ただし、やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に棄権届を大会本部の総務に提出し、承認を得ることで棄権が認められる場合がある。

(5) 各大学は要請された審判員・補助員を派遣しなければならない。

(6) 本競技会ではドーピングコントロールテストを行う。

●ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟ドーピング防止規則もしくは日本ドーピング防止規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。

●TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療目的使用に係る除外措置(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト、又は日本アンチ・ドーピング機構ウェブサイトを確認すること。

・日本陸上競技連盟医事委員会 <http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>

・日本アンチ・ドーピング機構 <http://www.playtruejapan.org/>

※2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、そして日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年者(20歳未満)の選手がドーピング検査を受ける際、未成年者同意書を提出する事が必要になる。本大会に参加する選手のうち、平成28年7月1日(金)時点で未成年の者は、主催者より配布される未成年者同意書を熟読し、署名、捺印の上、大会当日に持参すること。

(7) ポール・投擲物の輸送について

競技場への輸送はポール・投擲物のみ認める。6月30日(木)14時~15時に到着するように日時指定をし、先払いにて送ること。なお、きちんとしたケースに入れ、大学名を大きく分かりやすく明記すること。また、郵送した旨、内容物(種類・本数等)・到着予定時間(指定した時間)を6月29日(水)17時までにメールにて関西学連(inficaak@gmail.com)へ連絡すること。

(8) 荷物の返送について

荷物の返送に関しては、7月1日(金)は18時まで、7月2日(土)は18時まで、7月3日(日)は15時までにインフォメーションセンターにて申請すること。原則着払いとし、到着時間は指定できない場合がある。また返送を希望する荷物の内容物(種類・数等)を6月27日(月)までに関西学連(inficaak@gmail.com)へ連絡すること。

(9) 競技者は保険証(コピー)を持参すること。

(10) 器具の破損については当該者の所属団体から必要代金を徴収する場合がある。

(11) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。**ただし、2016年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。**

(12) その他不明な点については、関西学連まで連絡すること。

24. 連絡先

〒533-0003 大阪市福島区福島4-6-2 アメニティ福島205号

関西学生陸上競技連盟 TEL:06-6442-8770 FAX:06-6442-8771

【大会担当】新井 志織 北口 凜

関西学生陸上競技連盟